

長泉寺だより

真言宗
御室派

薬園山長泉寺

〒700-0807

岡山市北区南方3丁目10番40号

TEL(086)223-7450

FAX(086)221-0302

振込 岡山 01250-6-6418

ホームページ: www.chosenji.net

第 310 号



「現実的」という言葉に引かかる。去る衆議院選挙で与党は、他党より「現実的」と称する政策を掲げ大勝。よほど「現実的」という言葉に説得力があったのだろう。

仏教は、「現実」

を深く考察する宗教である。大乘仏教の祖・龍樹菩薩は、後世の仏教に絶大な影響を与えた『中論』の中で、「現実」を徹底して分析し、「空」の理論を確立した。真言宗に限らず、日本の伝統仏教はすべてこの龍樹の思想に依っており、つまり「現実≡空」との思想を採用しているわけである。大乘仏教では、そこをよく理解した上で、「現実的」という言葉を用いるべきであろう。

「現実」と「お花畑」

ひともし

国会ではこれから憲法改正の議論が始まる。そういった中で、武力の放棄を謳った九条を擁護する者は、頭の中が「お花畑」だとの批判をしばしば耳にする。それはつまり、北朝鮮問題などで緊張感が高まっている今、九条護持は非現実的な空論だという揶揄である。しかし考えてみれば、「不殺生」を説く仏菩薩はみんな蓮の台に乗っているし、空海だって「万灯万華会」を修し、途方もない大願を発露された。経にも『法華経』や『華嚴経』など「花」を説くものは多い。これらも「お花畑」にあたるのだろうか。

たののだろうか。

仏教で花は「忍辱」を象徴する。平和にも我慢が重要であることは言うまでもない。(龍)

～新年の各家無事安泰を祈る～
初本尊薬師瑠璃光如来ご縁日

大般若経転読法会

新年正月8日(月祝) 午前9時～ 於：本堂

ご祈祷札は事前に寺務所までお申し込み下さい(二千円/一基)。

詳しくは別紙をご参照下さい。

新春落語
桂米紫さん

重要なお知らせ

本堂修繕の工期が、下記日程に変更となりました。

工期：平成30年2月中旬～9月

近年、7月から9月終わりにかけて大型の台風が頻繁に来襲することを受けて、その時期に本堂仮屋根を設け屋根工事をすることへの事故等のリスクを回避するため、総代会において大幅に工期を早めることを決議いたしました。

当初は6月から11月にかけて施工することにしておりましたが、今年の夏場の天候状況を鑑み、6月までに屋根工事を終え、夏場は回廊や内装工事を行うよう調整いたします。どうか皆様よりご理解賜りますよう宜しくお願いします。

なお、当事業にかかる経費、奉讃寄付受付期間、落慶法要等についての変更はございません。

長泉寺本堂修繕奉讃会

弘法大師御影供に合わせて、永代供養樂陽廟の秋季合同供養法要「春秋祭」、並びに戦没者精霊供養安らぎの塔前「平和祈願祭」を奉修いたしました。樂陽廟では、参列者の皆様とともにご法楽を捧げると

十一月二十一日、弘法大師御影供に合わせ、永代供養樂陽廟の秋季合同供養法要「春秋祭」、並びに戦没者精霊供養安らぎの塔前「平和祈願祭」を奉修いたしました。また、客殿では長泉寺御室流華道教室の皆さんによる華道展も開催され、見学者の心を癒しました。

奉讃者	藤岡美枝子	渡邊秀明	江見純子
	小津野勝義	難波一枝	石原布美子
	岡田一子	田中隆志	田邊善治
	山田良夫	井股進	森本スミエ
	西田敏彦	桂木愛子	信部淳子
	奥植操	山崎澄子	戎野純一
	森本八重子	原チエコ	石原重政
	宇佐美政宗	大熊峯子	家守徑子

特別協讃者
山部順市

本堂修繕奉讃者御芳名 敬称略
九月二十日～十一月末受付

ご協力に衷心より感謝を申し上げます。

長泉寺本堂修繕奉讃会

長泉寺本堂修繕奉讃金 途中経過報告

奉讃金額 ￥55,935,000

奉納件数 493件 平成29年11月末現在

瓦奉納金額 ￥308,000 平成30年5月締切予定

工事見積額 ￥64,584,000

※奉讃金の受付は平成30年12月までです。



◆霜月大師ご縁日

ともに、光明真言をお唱えしながら地下階から三階を練り供養し、各家精霊に向いたしました。

安らぎの塔では、七十二年前の戦争でお亡くなりになった当山檀信徒精霊に供養を捧げ、戦争は繰り返さないという強い誓いを新たに平和祈願。

光研名誉住職は、その後の法話の中で「満蒙開拓団」に触れ、「戦没者は軍と空襲被害だけではない。国家政策として岡山からも多くの若い人が満州へ渡り、敗戦とともに亡くなった。運よく帰国できた方も残留した方もたくさん苦しんだ。戦争は様々な犠牲を生み出す。もう二度とあつてはならない。」と述べました。



一年回顧 龍門

境内の大銀杏の葉が真黄色に染まり、風が吹く度にヒラヒラと散っている。毎年恒例のこの美しい景色に、ああ今年もあと一ヶ月か、としみじみ一年を振り返っている。

今年の正月に、長泉寺本堂修繕奉讃会を立ち上げ、檀信徒各位に発願の理由ほか事業内容の告知、そして奉讃寄付の依頼をさせていただいた。当初、総代会で話し合われていたのは、あまり景気の良い時代ではないし、みんなそれぞれ生活困難や将来不安を多く抱えている中で、任意の寄付では集まらないのではないかと不安いっぱいのものであったが、これまでに目標の八割を超える奉讃金を檀信徒各位より賜うことができた。寺を預かる住職として感無量

であるとともに、ご協力いただいた檀信徒各位には心から敬意と感謝を申し上げたい。また、気持ちはあるが経済的にはなかなか協力できないという方には、どうか気にしないで欲しい、決して無理はしないで欲しいと伝えたい。且那寺の第一の役割は、檀信徒みんなが健康に、そして心豊かに暮らせるよう勤めることだ。時にそれは、檀信徒が憩い、そして共に祈る場としての伽藍整備が必要になることもあるが、それをするために檀信徒が無理な負担を背負い、苦難するようなことであれば本末転倒である。どうかそのようなことがないようお願いしたい。

とにかく今年はこの本堂修繕奉讃会に動いた一年であった。毎月行っている総代会(総代長・岩見徹氏)では、毎回の議題の一番に奉讃会を協議し、事業内容を深めた。

文化事業としては、昨年末か

ら開講した「将棋クラブ」が、多くの方からいただいたご協力のおかげと、「二十九連勝」という歴史的偉業を達成した藤井聡太くん効果もあって予想外の大盛況。写経会も参加が大幅に増え、寺子屋文化講座も好評を継続。合唱団コーロナーガも4つのコンサートを乗り切るなど頑張った。ご詠歌会、華道教室、書の会などを含め、メンバー各位には慰労を申し上げたい。

毎月八日と二十一日の縁日には、相変わらずの政権の混乱により法話が政治的な内容に傾倒したように思う。どうか来年は、純粋に仏教を語れるような一年になれば、と願ってやまない。



第十五回目となった長泉寺子屋文化講座が、「岡山の地酒」というテーマで、日本酒ジャーナリストの市田真紀先生と、岡山地酒応援団理事長の末次威先生を講師にお招きし、十一月八日、本堂で開催されました(参加四十名)。

受講者の皆さんは、岡山の地酒や酒文化についてはもちろん、お酒の作り方から嗜み方まで、幅広く学ぶことが出来ました。

平成三十年 年回忌表

- 一 周忌 平成二十九年没
- 三 回忌 平成二十八年没
- 七 回忌 平成二十四年没
- 十三回忌 平成十八年没
- 十七回忌 平成十四年没
- 二十三回忌 平成八年没
- 二十七回忌 平成四年没
- 三十三回忌 昭和六十一年没
- 五十回忌 昭和四十四年没

年忌法事は忘れないように気をつけましょう。
年忌にあたらぬ場合でも、「祥月命日」等で、
当山よりお参りに行くこともできます。
ご遠慮なくお問合せ下さい。

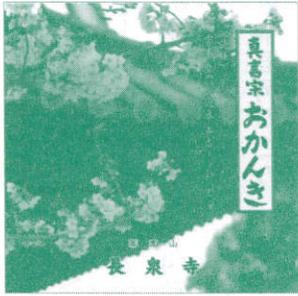
奉納

観音堂提灯立一對
施主人見和幸(上中野)

心より感謝を申し上げます。

長泉寺オリジナル

おかんきCD



寺務所にて販売中です ¥1,000(税込)

長泉寺杖心会 新年初詣
いざ白須賀へ!

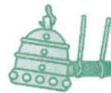
新年1/27(土)~28(日)

潮見観音・曹洞宗蔵法寺参拝

静岡県湖西市白須賀

※詳しくは別紙をご覧ください

ゆく年くる年
除夜の鐘
大晦日十一時
暖かいお接待もあります。



長泉寺
将棋
クラブ

毎月一回
客殿で開催中
■14回目

平成30年1月20日(土)
13:30-16:00

どなたでもご参加いただけます

「未来の檀信徒に安心、安全な本堂を継承する。」

長泉寺本堂修繕奉讃金

奉讃金一口 金、五万円 特別協賛金一口 金、壹百万円

任意のものですのでくれぐれもご無理のないよう宜しくお願いします。

郵便振替口座：01340-6-105227 長泉寺本堂修繕奉讃会

60年の御姿に幕を閉じる

現本堂見納めの会

平成30年2月8日(木)

- 9時 本尊縁日法要・写経
- 10時半 大改修工事安全祈願法会
- 11時 講話「現本堂の由来について」
- 12時 お接待

※詳しくは追ってお知らせいたします

